チューモくん日記　＃１１０周年・ひと　～卒業生が議員に！～

　秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。
　「チューモくん日記」では、本校やその周辺のことについて語っていきます。

秋田県立視覚支援学校は、令和４年度で創立１１０周年。
今回は、創立当時のこぼれ話を紹介します。

1925年（大正14年）７月２日付けの「点字大阪毎日　第１６５号」に、

あきたけん　ひらかぐん　みえむらの　しんあんか　しばた　ちょくさい＿しわ　もーじんの　みで　こんかい　そんかい　ぎいんに　さいこーてんを　もって　とーせんした　しわ　たいしょー　７ねん　あきた　もーあ　がっこーの　しゅっしんで　ある。
（秋田県平鹿郡三重村の鍼按家・シバタ　チョクサイ氏は、盲人の身で、今回、村会議員に最高点を以て当選した。氏は大正７年、秋田盲唖学校の出身である。）

とありました。

　本校の卒業生名簿を調べると、1918年（大正７年）の卒業生に「柴田直治」という人がいました。当時の「点字大阪毎日」は点字版しかなかったので、すべて仮名で書かれています。「ナオハル」「ナオジ」ではなく「チョクサイ」が正しい読み方なのだと思いますが、はっきりしません。
　三重村は平鹿郡にあった村です。現在の横手市南部で、昭和の時代に十文字村と合併して十文字町となり、平成の大合併で横手市となりました。
　百年近く前の大正時代に、視覚障害のある本校卒業生が、村会議員になっていた。しかもトップ当選というのは驚きですね。

＜参考資料＞
『点字大阪毎日』（1925年）